東京国立博物館 たんけんマップ

2022 vol.1



たんけんマップは、トーハクボランティアが主に小学校高学年から中学生の みなさんに向けて作成した新聞です。

いつもは博物館内で配布していましたが、ウェブサイトからダウンロードして、 家でも楽しんでもらえる内容にしています。

今回は「おしゃれ」特集。

おしゃれというと、何を思い浮かべるかな?

洋服? アクセサリー?

実はトーハクにも、おしゃれなものがたくさんあるんだよ。

さあ、たんけんマップを持って、トーハクのおしゃれを

探しに行こう!

平成館 考古展示室:埴輪

ニラニニスルロレコ 考古展示室の入口で、みんなを迎えているのは、 古墳時代の埴輪だよ。

名前は「盛装女子(せいそうじょし)」といって、 着飾った女性という意味なんだ。

。 裳という広がったスカートに、ひも結びの上着 がすてきでしょ?

耳には大きな輪と小さな玉がたくさんついた イヤリングをしているよ。

ブレスレットはネックレスとおそろいだから、 よく見てね。

こんなに着飾っていることから、モデルは、 身分の高い人と考えられるんだって。

また、今、残っている女性を表わした埴輪の ほとんどは、上半身だけの像なので、このように

ぜんしんぞう じょせい はにゎ 全身像の女性の埴輪はとても珍しいものなんだ。



東京国立博物館、略してトーハクは、明治5年創立の 日本でもっとも歴史のある博物館だよ。

トーハクには、日本やアジアの美術作品や考古遺物の コレクションが、約12万件もあるんだ。

その中から、総合文化展(常設展)では、約3,000件の 展示を見ることができるよ。



そうしんぐ かんむり 東洋館:装身具・ 冠

東洋館では、中国・朝鮮半島・東南アジア・西域・ インド・エジプトなどの美術品をめぐって、旅の 気分が味わえるよ。

アクセサリーなどおしゃれなものを探して、まず 2階の3室に行ってみよう。

← これは、身分の高い女性が頭につけた飾りの

一部で、色々な宝石をはめこんで 作られているよ。

これを何本も髪の上から垂らして 飾ったんだ。

ペルシアの偉い人が持っていたネックレスもあるよ。 小さいけれどすごくきれいで、よく見ると丸い飾り が一つ一つ違っているんだ。

真ん中あたりに、三日月に座る神さまをモチーフに したものがあるから、探してみてね。



その後は、エレベーターで 5階に上がってみよう。

10室の入り口では、古代の朝鮮の 冠 を見ることができるよ。

金できているということや揺れるような



本館の1階はジャンル別の展示、 2階は時代を追った展示になっているよ。

本館1階16室:アイヌと琉球

アイヌの人々のアクセサリーの中には、女性が儀式の ときにつける首飾りがあるよ。

これらは、母から 娘 に受けつがれてきた宝物なんだ。 首飾りに使われているガラス玉は、外国との交易で 伝わったものだよ。

そして、琉 球 にも南国らしいものがあるんだ。



「紅型(びんがた)」は、壁やかな しきさいで模様を型染めにした琉球の でないででで変素がある。

昔は、身分の高い人しか身に着けることができなかったんだって。

本館 19 室・みどりのライオンに 出ている「紅型ができるまで」で、 作り方を確認してね。



本館1階11室:仏像

仏像の中には、アクセサリーをつけている仏さまも いるんだよ。

それは「菩薩(ぼさつ)」という仏さま。 『きょう 古達は、修行中の仏さまなので、仏教のもとを 作ったお釈迦さまの若いときをモデルに作られて

いることが多いんだ。

お釈迦さまは、もともとはインドにある国の 王子さまだったんだ。

王子さまだから、頭に^{かんむり} をのせているよ。 なね 胸には豪華なネックレスをさげているし、

本館2階5室 6室:武士の装い

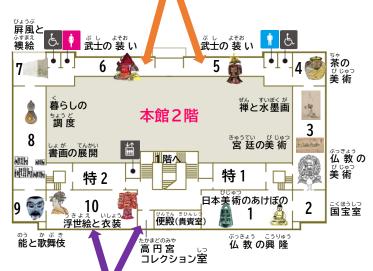
「かぶと」や「よろい」は戦いのときに 身を守る防具だけど、歴史に名を残す武将 にとっては、自分をアピールするものでも あったんだ。

そのため、戦場で目立つように派手にしたり、 こせいてき 個性的でおしゃれなものを身に着けた武将も いたんだよ。

武士の装いは、時代ごとの戦いのスタイルに合った実戦的なものから、やがて装飾的なものから、やがて装飾的なものへと変わっていったんだ。

本館 1 階の特別4室にも行ってみてね。 「かぶと」や「よろい」のレプリカを 間近で見ることができるよ。





⁻ 本館2階10室:かんざし・印籠

たかまどのみや 高円宮コレクション室:根付

玉かんざし、透かし模様のかんざし、長い垂れ ががいが揺れるかんざしなど種類がたくさんあるよ。



同じ頃の男性のアクセサリーと言えば、「印籠(いんろう)」や「根付(ねつけ)」。 いで記し、薬を入れる小さな容器だよ。そして左の絵のように、印籠などの 小物を腰に下げて持ち歩くとき、 ネット があり落ちないように、帯の表に根付の が飾りを出したんだ。

小さいけど色々なモチーフの ものがあって、外国の人にも 大人気。



※ 展示替えのため、作品の展示がない場合もあります。

発行:東京国立博物館ボランティア たんけんマップグループ 2022年7月